

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	659	66	△593
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	659	66	△593
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	7,976	7,976	-	固定負債	6,227	593	△5,634
有形固定資産	7,976	7,976	-	地方債	-	-	-
土地	7,976	7,976	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	6,227	593	△5,634
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	6,886	659	△6,227
固定資産	-	-	-	純資産	1,090	7,317	6,227
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	7,976	7,976	-	純資産の部合計	1,090	7,317	6,227
				負債及び純資産の部合計	7,976	7,976	-

Ⅲ 財務構造分析

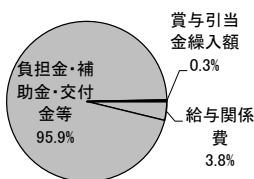
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	0.1人			-4,760
給与関係費等	△4,760千円			
内、時間外勤務手当	35千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		90.2	100.0	100.0	0.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

平成30年度(2018年度)に事業は完了し、令和元年度(2019年度)には、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした事後評価を実施しました。令和2年度(2020年度)は、償還金の支払を行いました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成30年度(2018年度)に事業は完了し、令和元年度(2019年度)には、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした事後評価を実施しました。令和2年度(2020年度)以降は、償還金の支払のみとなります。当該事業で得た経験を他事業で活かしていくことが必要と考えています。